

# 大泉

## いつしよにやるから たのしいね!

石井 友行

先日の全校朝会で「いつしよにやるからたのしいね」という言葉について子供たちに話をしました。友達がいるから辛いことも頑張れるし喜びも二倍になります。これはいろいろなことには当てはまりません。まずは展覧会について。

今年には二年に一度の展覧会の年です。四百三十三人の小さなアーティストが自分の美の世界を展開します。表現する側も見る側ともに楽しめる空間づくりを目指しています。一人一人が生き生きと表現することを楽しんでほしいし、友達の世界を見て「わあ、きれい」「おもしろい」というような思いがわきあがるような展覧会にしたいとも思います。そんな気持ちでこめて今年も展覧会に「ピエンナール」という言葉をつけました。芸術祭としてはヴェネツィア・ピエンナールが世界的に有名ですが気持ちの上では同じです。個展ではなく、みんなで「いつしよにやるからたのしい」のだと思います。

次は、運動会のアンケートから。「六年生の組体操の後、一、二組の子と一緒に組体操を頑張った五組の子とハイタッチをして互いの頑張りをたたえあっ

< 発行 >  
練馬区立大泉小学校

< 所在地 >  
練馬区東大泉 4-25-1

TEL 03-3924-0144  
FAX 03-5387-2092



ていました。「五組の子が遅くなると一緒に手をつないで走る子供たちの姿を見て、運動会は一人じゃないと感じた。みんなとともに力を合わせる子供たちの心、姿を見てうれしく、感動しました。」

「通常級の子供たちは五組の子たちが最後まであきらめずにやり遂げるのをみんなで見守りました。五組の子たちは自分の持っている力を一生懸命出しながら競技に取り組んでいました。」

大泉小では通常級と特別支援学級との交流及び共同学習を進めています。共に学ぶ中で互いの理解を深め、支えあえるようにしていきたい、それを当然のことと受け止め行動できるようにしたいと思います。いつしよにやるからたのしいね」という思いを育てていきたいと思っています。

最後は開校百二十周年記念の記念誌についてです。

記念誌が間もなくできあがります。「共に生きてきた記憶」というテーマで、大泉小学校の卒業生の皆さんに原稿を書いていただきました。戦争もありました。食糧難もありました。そんな中でも当時の子供たちは明るくたくましく友達と支えあいながら生活をしてきた様子がよくわかります。記念誌はいずれお手元に届くと思います。ぜひご覧ください。「いつしよにやるからたのしいね」は今も昔も変わりません。

## 11月の行事予定

- 2日(金) 展覧会会場準備
- 3日(土) クリーン運動(5校時)
- 3日(土) 文化の日
- 5日(月) 委員会活動
- 7日(水) 展覧会準備
- 7日(水) 4時間授業
- 8日(木) 合同運動会予備日(五)
- 8日(木) 就学時健康診断
- 8日(木) 安全指導
- 9日(金) 特別時程(4時間授業)
- 9日(金) 展覧会
- 10日(土) 学校公開
- 10日(土) 展覧会
- 12日(月) 学校公開
- 12日(月) 読書旬間
- 12日(月) 22日(木)
- 12日(月) クラブ活動
- 13日(火) 入間川じゅず玉採集(五)
- 19日(月) クラブ活動
- 20日(火) 式典呼びかけ練習(5・6)
- 21日(水) 式典呼びかけ練習(5・6)
- 22日(木) 式典リハーサル(5校時)
- 22日(木) 周年式典準備
- 23日(金) 学校評価アンケート締切
- 23日(金) 5時間授業
- 24日(土) 勤労感謝の日(休日)
- 24日(土) 120周年式典
- 26日(月) 4年生まで3時間授業
- 26日(月) 5・6年生弁当持参
- 26日(月) 振替休業日
- 29日(木) 社会科見学(3)

## 《11月の生活目標》 「学校をきれいにしましょう」

大泉小学校では、毎日13時から13時20分までの20分間、決められた場所を清掃しています。低学年は教室・廊下・靴箱、中学年は、その他に流しや階段・図書室など、高学年になると特別教室の掃除が加わります。ほうきやぞうきん、ちりとりなどの役割分担をして、それぞれ一生懸命清掃をしています。

また、毎年11月はクリーン運動を実施しています。例年は、落ち葉拾いをしますが、昨年度から快適な学習環境を作るため、全校一斉に校内美化に取り組みになりました。清掃分担当所をいつもより時間をかけて念入りに清掃すると共に、普段の清掃で行ってきれいな壁・傘立てなどを清掃しています。きれいな環境で、気持ちよく学習に取り組めるようにしたいと思います。

## ふれあい(いじめ)防止強化 月間

十一月は練馬区の公立全小中学校・幼稚園でふれあい月間が設定されています。本校でも、いじめをなくし、子供たちが明るく楽しい学校生活を送れるように、「いじめ撲滅宣言」の募集などの取り組みをしていきます。撲滅宣言は保護者の皆様からも募集したいと思いますので、ご協力をよろしくお願いたします。

(小林 雄太)

### 展覧会

十一月九日(金)十日(土)本校体育館にて開校百二十周年記念展覧会(大泉ビエンナーレ)が開催されます。日々の学習の成果としての作品が、会場に所狭しと展示されます。百二十周年記念のテーマである「共に生きる」を受け、展覧会のテーマも

「共に生きよう 共につくる」

をテーマに四月から、絵や立体作品を制作してきました。立体作品では、箱から生まれた仲間たち、百二十周年おめでとうケーキ、のこぎりで木を切った作ったウツディハウス、電動のこぎりで作った系のこジャングル、傘の骨組を材料にした作品、ランプがきらめく陶芸作品に、家庭科の学習でつくったトートバッグやミニ巾着袋など、パリエティーにとんだ作品が出品される予定です。もちろん、絵の具やパステルで描いた絵や版画等の平面作品も出品されます。

また、低学年、中学年、五年生、六年生、五組とそれぞれで協力してつくった共同作品も見どころの一つです。当日会場は子供たちの力作でいっぱいですが、ぜひ鑑賞いただき、作品を通して子供たちの世界と成長をご覧いただければ幸いです。

(和久井 智洋)

### 合同宿泊学習(五組)

毎年五組は他校の五組と一緒に宿泊学習に出かけます。都会の学校では味わえない体験を大切にしたい宿泊学習の一端をご紹介します。

七月中旬の下田宿泊。今年は海の活動中心の三日間を過ごしました。一日目はバナナワ二園で楽しみ、二日目は外浦海岸で大津波対応の避難訓練を済ませた後、海水浴や砂遊び、約二十分間の周泳で力を発揮しました。

夏休みに入ると高学年は練馬東小と一緒に秩父に三日間のキャンプに行きました。自分の荷物以外に食材や必要な共同装備品を分担して背負い、急坂を登ってキャンプ場まで運びました。食事の準備も自分たちでしました。虫取りや木登りなど飽きることもないキャンプ。一日目に炭焼で小皿を作り全日食事に使いました。二日目は川の上流に行き川遊びやスイカ割りもしました。ザイルを頼りに急流上りをしたり流れに任せて泳いだりしました。その晩には肝試しを、前の晩には花火をしました。汗をかいて歩き荷物を運び、真剣な表情で包丁を扱い皿を作り、大声で友達と笑い合い水遊びに興じた三日間でした。

十月になると紅葉の山が美しい軽井沢の山歩きを中心とした三日間を過ごします。一日目はマス釣りをして夕食に食べます。二日目が鼻曲山縦走登山。三日目は浅間牧場内の天丸山山頂を目指すマラソン大会。そして土産を買い火山博物館を見学して帰京します。

「自然は子供の心と体をしなやかにたくましく鍛え健やかに育む」私たちはいつも感じます。

(宮内 聡朗)

### 軽井沢移動教室(五年)

晴天に恵まれた三日間でした。ここでは、児童の学びの一端を紹介します。

林業体験で生まれて初めて木を切りました。木を切るのには難しかったです。ジヤンボ写真立てなどを作りました。また森が大切にされていることがわかりました。林業体験では男女でペアを組み、友達関係を深められるようにもしました。ベルデの森では、ツキノワグマが掘った穴を見たり、イノシシや鹿などの動物の痕跡を見ました。そのことを生かして、ウオークラリーの時には自分で鳥の巣を見つけました。

係では、部屋みんなが体温計をなくさないように体温計入れを作りました。保健カードをなるべく早く看護士さんに届けるようにがんばりました。

友達の中には、係でなくても進んでお弁当の分別を手伝っている人がいました。私も、気がついたらスリッパをそろえたり、ふとんしきを協力したりしました。部屋のテンションを上げて楽しくなるようにもしました。

リング狩りでは、一つ一つのリングの味の違いがよくわかりました。シナノスイートと秋映が特別においしく、少し酸味のある秋映をおみやげにしました。

子供たちは自然を通して、学ぶことの楽しさを実感したようです。また、よく考えて生活していたことが分かります。

キャンプファイヤーの最後に、みんなを肩を組んでレク係作の、「思い出のアルバム軽井沢バージョン」を歌いました。友達・人との絆を大切にできる子供たちと充実した時間を過ごすことができました。

(壺坂 憲司)

### 六年生の様子

六年生の社会科では歴史の学習をします。児童にも大変人気のある領域です。ユニークな石器や土器、また、貴族や武士たちのわくわくする動きは子供ならずとも引き付けられます。

しかし、二学期を迎え、いま取り組んでいる近代史では難しい言葉や複雑な世界情勢が関わって来て、そうしたダイナミックさは少し影を潜めてきます。

すると、子どもたちは歴史が嫌いになるでしょうか。決してそんなことはありません。国同士の関係やそれまでの流れを踏まえながら、より深く考える学習に夢中になってくれます。

四月の段階ではこうはいかないでしょう。六年生の一年間は論理的に考える力が大変伸びる時期です。半年間の子供たちの成長を改めて感じます。

そのような中で、自分の考えをもつ力も高まります。

国語では平和について自分の考えを発信する意見文の学習をしています。六年生なりに資料をもとに懸命に考える姿がうれしいです。

学級会でのユニークな意見やぶつかり合った考えの着地点をみんなで見出すところの姿勢も育ってきました。

小学校生活も残り半年を切りました。これから先も様々な成長や変化を見せてくれることでしょう。そうして、一緒に大泉小学校の良い伝統を作っていくたいと思います。

(大木 篤)